



2020年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月11日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
 コード番号 7833 URL <https://www.ifis.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当
 四半期報告書提出予定日 2020年5月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 大沢 和春
 (氏名) 大澤 弘毅
 TEL 03-6825-1250

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,665	11.5	236	10.0	237	10.2	155	11.9
2019年12月期第1四半期	1,493	4.9	263	7.7	264	7.3	176	6.7

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 153百万円 (13.3%) 2019年12月期第1四半期 177百万円 (5.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	16.08	
2019年12月期第1四半期	18.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	4,914	4,055	82.5	419.86
2019年12月期	4,904	4,075	83.1	421.94

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 4,055百万円 2019年12月期 4,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		18.00	18.00
2020年12月期					
2020年12月期(予想)		0.00		19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	3.6	420	9.7	420	9.9	277	9.8	28.68
通期	6,000	7.8	900	4.8	900	4.1	594	4.2	61.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	10,242,000 株	2019年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	2020年12月期1Q	582,305 株	2019年12月期	582,305 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	9,659,695 株	2019年12月期1Q	9,659,761 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が続き緩やかな回復基調から一転し、世界規模での新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞等により、先行き懸念が急速に拡大していく状況となっております。当社事業と関連性が高い証券市場や投資信託市場においても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け株価の急落および投資信託の純資産総額が大幅に減少する状況となりました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、投資情報事業、ドキュメントソリューション事業、ITソリューション事業を中心に業績をのばしております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,665百万円(前年同期比171百万円増、11.5%増)、営業利益は236百万円(前年同期比26百万円減、10.0%減)となりました。また、経常利益は、237百万円(前年同期比26百万円減、10.2%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

ネット証券会社に提供している個人投資家向けコンテンツの好調が継続するとともに、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』も堅調に推移しております。一方、サービス品質の強化のため人員体制の増強などを行っており、販売費及び一般管理費も増加しております。

その結果、売上高は381百万円(前年同期比31百万円増、9.1%増)、営業利益は151百万円(前年同期比7百万円減、5.0%減)となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

生命保険関連の印刷・物流サービスを中心に売上を大きく伸ばすとともに、企業年金関連のソリューションサービスも堅調に業績に寄与しております。その結果、売上高は683百万円(前年同期比163百万円増、31.5%増)、営業利益は85百万円(前年同期比9百万円増、12.8%増)となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場の純資産総額の減少、公募投資信託の本数及び新規設定本数の減少が続いており、これらの影響により当社における投資信託関連の印刷受注量は前年同期比で減少しております。また新ソリューション展開のための費用の増加もあり、前年同期比で減収減益となっております。

その結果、売上高は361百万円(前年同期比70百万円減、16.4%減)、営業利益は66百万円(前年同期比45百万円減、40.9%減)となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は、堅調に推移しており、販売費及び一般管理費の削減により前年同期比で増収増益となっております。

その結果、売上高は238百万円(前年同期比46百万円増、24.4%増)、営業利益は25百万円(前年同期比24百万円増、1610.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し、4,914百万円となりました。

流動資産合計は20百万円増加し、4,216百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が52百万円、受取手形及び売掛金が23百万円増加した一方で、仕掛品が46百万円減少したことによるものであります。

固定資産合計は11百万円減少し、697百万円となりました。主な要因は、のれんが償却により14百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ29百万円増加し、858百万円となりました。

流動負債は29百万円増加し、732百万円となりました。主な要因は、買掛金が56百万円増加した一方で、未払法人税等が37百万円減少したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末とほぼ同額の125百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ20百万円減少し、4,055百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益155百万円の計上による増加と、剰余金の配当173百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大の影響につきましては、現時点では当社グループの業績への影響が不透明であることから2020年2月10日に公表の予想値を据え置いております。今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,549,540	3,601,645
受取手形及び売掛金	523,956	547,023
仕掛品	65,675	18,978
その他	56,760	49,091
流動資産合計	4,195,932	4,216,738
固定資産		
有形固定資産	64,428	64,601
無形固定資産		
のれん	285,447	270,990
ソフトウェア	109,285	104,012
ソフトウェア仮勘定	4,043	4,860
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	400,246	381,332
投資その他の資産	243,973	251,562
固定資産合計	708,648	697,496
資産合計	4,904,580	4,914,235
負債の部		
流動負債		
買掛金	211,511	267,791
未払法人税等	135,528	98,121
賞与引当金	16,471	59,564
その他	340,192	307,317
流動負債合計	703,703	732,795
固定負債		
退職給付に係る負債	15,117	15,732
その他	109,982	109,982
固定負債合計	125,100	125,714
負債合計	828,804	858,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	3,327,176	3,308,657
自己株式	△77,975	△77,975
株主資本合計	4,070,020	4,051,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△368	△576
為替換算調整勘定	6,123	4,799
その他の包括利益累計額合計	5,755	4,223
純資産合計	4,075,776	4,055,724
負債純資産合計	4,904,580	4,914,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,493,979	1,665,421
売上原価	893,825	1,049,705
売上総利益	600,153	615,715
販売費及び一般管理費	337,015	378,867
営業利益	263,138	236,848
営業外収益		
受取利息	396	363
受取配当金	162	96
持分法による投資利益	444	367
助成金収入	—	600
その他	285	143
営業外収益合計	1,288	1,570
営業外費用		
為替差損	128	970
その他	5	0
営業外費用合計	133	970
経常利益	264,293	237,448
税金等調整前四半期純利益	264,293	237,448
法人税、住民税及び事業税	77,899	91,488
法人税等調整額	10,086	△9,394
法人税等合計	87,985	82,093
四半期純利益	176,307	155,355
親会社株主に帰属する四半期純利益	176,307	155,355

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	176,307	155,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	△208
持分法適用会社に対する持分相当額	1,086	△1,324
その他の包括利益合計	1,111	△1,532
四半期包括利益	177,418	153,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177,418	153,822

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリュ ーション 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	349,543	519,903	432,851	191,681	—	1,493,979	—	1,493,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,033	—	14,609	—	17,642	△17,642	—
計	349,543	522,937	432,851	206,290	—	1,511,622	△17,642	1,493,979
セグメント利益又は 損失(△)	159,061	76,215	111,858	1,491	—	348,625	△85,486	263,138

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△85,486千円には、セグメント間取引消去△2,965千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△82,520千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

より事業の実態に即した採算管理を行うため、第1四半期連結会計期間より、「ドキュメントソリューション事業」に含めていた事業法人向けIFIS IR Manager、IFIS Research Manager、IFIS Consensus Managerを「投資情報事業」に、「ファンドディスクロージャー事業」に含めていた確定拠出年金関連サービスと「ITソリューション事業」に含めていたタブレットソリューションを「ドキュメントソリューション事業」に移管しました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリュ ーション 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	381,206	683,858	361,909	238,447	—	1,665,421	—	1,665,421
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,600	1,677	—	10,555	—	15,833	△15,833	—
計	384,806	685,535	361,909	249,003	—	1,681,254	△15,833	1,665,421
セグメント利益又は 損失(△)	151,139	85,992	66,130	25,502	—	328,764	△91,916	236,848

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△91,916千円には、セグメント間取引消去△68千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△91,847千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。